

このコーナーは、地元を離れ

奈良で生活している学生さんたちに、奈良に来てみての感想や、ふるさとの自慢話を紹介してもらおうというものです。

今回は、1回生の辻彩和子さんに答えていただきました。

辻彩和子
音楽教育専修(初等)
1回生

ながさき けん
ながさき し
長崎県 長崎市

インタビュー内容

- ① 奈良のすきなところ ② 奈良に来て驚いたこと (地元にはないもの・こと)
③ ふるさと紹介 ④ ふるさとの自慢できるところ
⑤ ふるさとの観光地、おすすめスポット ⑥ ふるさとの特産品・名物料理



稲佐山展望台からの夜景

【方言】

- 【～やけん】…～だから
- 【～ばい】…～だよ
- 【いっちょん】…ちっとも
- 【やぐらしか】…うっとうしい
- 【とととと?】…とっているの?
- 【ずんだれ】…だらしない格好の人



ランタンフェスティバル



ちゃんぽん

- ① 自然や緑が豊かでありながらいつも多く県外や外国から訪れた観光客で賑わっていて、しっかりと歴史を守り抜いていこうとするような活気があるところや、霧田気がのどかで落ち着きがあり心がゆったりと休まるところが特に好きです。大仏様に守られているのか災害も少なく、非常に安心して過ごせます。大阪や京都に手軽に出掛けることができるアクセスのよさにもとても助かっています。
- ② 地元長崎は坂がとても多いところで、自転車移動をする人は殆どおらず、自転車で移動をしている人の方が珍しいくらいだったけれど、奈良では自転車移動している人がとても多いという印象を最初に受けたことを覚えています。奈良に来たばかりの頃は度々自転車が壊れかけました。また、人慣れしている鹿が奈良の至る場所にいてうまく人間と共存しているんだなあ、と感じました。夏と冬、昼と夜の寒暖差が激しいので慣れるまで大変でした。
- ③ 私のふるさは長崎県長崎市です。長崎市は九州の北西部に位置する都市で、長崎県の県庁所在地となっています。長崎市は国から中核市に指定されており、古くから外国への玄関口として発展してきた港湾都市です。江戸時代には国内唯一の貿易港の出島を通してヨーロッパから多くの文化が入ってきていたそうです。
- ④ 異国情緒が豊かで街並みが綺麗で、国内にも関わらず異国感があり、歩いているだけで景色を楽しむことができ、写真を撮るスポットも沢山あります。長崎くんちや、ランタンフェスティバルなどのお祭りも多くて、賑やかで楽しいです。魚介類や、名物料理など、美味しいものがとにかくそこら中にあり、食べることが大好きな人にはたまらないです。また、親切な人ばかりなので、笑顔と優しさに溢れている場所だと思います。島が多く、海に面している県なので、魚釣りも存分に楽しむことができます。
- ⑤ 長崎市の標高333mの稲佐山には、傾斜地という地理的条件により、100万ドルともいわれる夜景を立体的に望むことができる稲佐山展望台があります。展望台は360度のパノラマとなっていて、山頂からは長崎港や大浦天主堂、出島ワーフなどの定番の観光スポットを眺めることもできます。山頂までロープウェイで移動してみるのもいいかもしれません。世界新三大夜景に選ばれるほどの素晴らしい絶景はその日の旅の締めとしてでも是非見ておく価値があると思います。
- ⑥ 長崎の名物といえば、何と言っても豚肉、魚介類、野菜を具とした言わずと知れた郷土料理「ちゃんぽん」です。独自のスープの風味と太麺と具材の量の多さが特徴的で、旨味、ボリューム、栄養ともに満足できます。お土産としてもおすすめします。